

相つぐ合理化に怒り

12・8開戦記念の日に集会



上は市民会館前のアピール。下は会場風景。

忘れまい40年前の痛恨

三井の人べらしを許すな

十二月八日、あのいまわしい「太平洋戦争」に突入した日、大牟田市市民会館において「合理化粉砕・くらしと権利・平和を守る福岡県民決起集会」が午後五時半から開かれ、約千二百人が県下各地から参加しました。またこの集会にさきだつて、午後一時から大牟田労働金庫会議室で、合理化攻撃を受けている単組との交流会、また併行して代表者による対市交渉が行われました。

この日の集会は、まず全日労連を代表して小野明参議院議員、共産党を代表して三浦久参議院議員、大牟田分会合唱団による力強い「合理化とたたかう重要な役割を解明。さらにニセ行革と軍拡を押しすすめる鈴木自民党内閣と、もろもろの反動勢力との対決。労働運動における右翼再編の危険性など

の点が強調され、ふたたび戦争を起させないための平和のたたかいの起点にすることが訴えられました。このあと、闘争組合の紹介と決行行われ開会しました。

合理化の内容とたたかい

福岡県下でただひとつ「特定不況地域」に指定されている大牟田十四人(四〇・九%)の人員削減を行い、九百六十人体制とする。②賃金を五%カットし、五十七年

三井製煉の場合には、三井金属三池製煉所の場合には、①三百二十四人(五八・八%)の人員を削減する。②三池製煉所を三井金属から分離し、別会社とする。③ベースアップは行わず、賃金の二〇%を引き下げる。など

三井東庄の場合には？ また、三井東庄化学大牟田工業街も深刻な打撃を受けることにな

秋季闘争を妥結

退職 二十四級を二十五級へ

十月十六日の北炭夕張新鉱の大災害発生によっていったん延期し、十一月八日から再開した秋季闘争は、十四日午後十時四十分妥結にいたり、ストライキを中止した。

- 一、退職手当について 現行二十四級(健保等級)を一級引き上げ二十五級とする(月額五千円)
- 二、定年延長について 昭和五十七年三月末を目途に専門委員会を設け協議する。
- 三、時間短縮について 右に同じ。
- 四、石炭年金について 定年延長問題とあわせて協議する。
- 五、振動病について 職業病専門委員会を協議する。
- 六、その他(略) 詳細は次号で。

三井グループ就業者数の推移

	昭 35 年	昭 40 年	昭 50 年	昭56年 8 月
三井金属工業所	2,333人	2,108人	941人	553人
三井製煉所				
三井東庄化学大牟田工業所	8,269	5,679	2,326	1,624
電気化学工業大牟田工場	1,582	1,567	654	600
三井三池製作	1,694	1,930	1,213	1,200
三井コークス	—	24	600	390
三井アルミ	—	—	818	860
三井山所	1,347	1,155	674	588
三井港務				
三井炭業	12,822	10,444	6,280	5,196
計	28,047	22,907	13,506	11,011
大牟田市の人口	205,766	193,875	165,969	163,000

行革推進まっしぐら

角影・鈴木改造内閣

十一月三十日、改造後の初閣議で増税を示唆する発言を首相が行うなど、内閣が発足し、国民権性の行革徹底の姿勢を示す。同時に内閣となつていす。外交では、日米共同声明にとりわれない外交に行われた自民党役員人事を主張した園田氏をはずし、アメでは、田中派の核内前幹事長を外相の灰色高官に、焦点の一つである防衛問題の一階堂進氏が、伊東氏が防衛庁長官に就任したことは、国民を不安にさせる人事になつていす。もともと国民をバカにした人事は、ロッキード疑惑の灰色高官、二階堂進氏の自民党幹事長就任で、来年秋に予定される田中角栄は、内閣改造被告への判決が有罪まじないし、角影・鈴木改造内閣といわれるなか、田中派からの重要ポストへの進出が危ぶまれてい、案を十二月末からの通常国会で成立させることを課題としていま、立憲を押し切つて、二階堂氏が幹事長となつたことは、自民党内で田中派の力が相対的なものであることがよくうかがえます。